

環境 アニュアルレポート 2025



未来へつなぐ、やさしい選択

株式会社NECライベックス

目次

	頁
ごあいさつ	3
1. 会社概要	4
2. 環境マネジメントシステム（現状と取り組み）	5
3. 環境目標および実績	15
4. 環境負荷状況（マテリアルバランス）	17
5. 主な環境負荷低減活動	18
6. 社会貢献活動	23

本レポートは、次の対象範囲、活動期間についてまとめています。

対象範囲：ISO14001認証取得範囲の拠点
※本社および6関連事業所(6頁参照)

活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日（2024年度）
※対象期間前後の情報も含みます

ごあいさつ

私は、NECライベックスの代表取締役執行役員社長の取屋憲治と申します。2025年度の環境アニュアルレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、NECグループの中で唯一「食」に特化した事業会社として、「安全・安心で良質なサービスの提供」をモットーに、さまざまな食関連サービスを展開しています。私たちは「とどけるまごころ、生まれる笑顔」というスローガンのもと、お客様の“より元気に・より便利に・より幸せに”を実現することを目指し、日々事業活動に取り組んでおります。

NECグループでは「NECエコアクション2025」に基づき、カーボンニュートラルの実現と地球環境への配慮を経営の柱の一つに掲げています。

当社もこの理念に沿い、事業運営に環境負荷低減の工夫を積極的に取り入れています。なかでも、水資源の保全は当社が重視する取り組みの一つです。厨房設備やシャワー施設における節水対策の徹底、従業員への啓発活動を通じて水の使用量を削減し限りある水資源を守る努力を継続しています。また、廃食油のリサイクルについても先進的に取り組んでおり、調理後に発生する廃食油を回収・再利用し、バイオディーゼル燃料として有効活用する仕組みを導入しています。これは単なる廃棄物処理ではなく、資源の循環的活用として環境負荷の軽減とCO₂排出削減の両立を実現しています。さらに、ペットボトル廃棄の削減にも注力しています。売店では環境に配慮した商品・サービスの取り扱いを拡充するとともに、従業員やお客様へのマイボトル利用の呼びかけ、空の容器を回収してリサイクルするボトルt oボトルを導入するなど、プラスチック資源の循環利用を意識した施策を推進しています。

当社は、1998年に業界で初めて、オフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体としてISO14001をNEC本社ビルにて取得し、2007年には認証範囲を拡大。現在では本社を含む6ヵ所の関連事業所において環境マネジメントを継続しています。これらの活動は、日々の業務の中で持続可能な社会づくりに寄与するものと確信しています。

今後も、環境配慮と事業の両立を図りながら、社会と調和し、NECライベックスとしての責任ある行動を継続してまいります。皆様には、今後とも当社の環境への取り組みにご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年 8月
株式会社NECライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治



1. 会社概要

当社は、NECグループを中心とした福利厚生業務の専門アウトソーシング会社として、専門性の追求と品質・サービスの拡充に努め、お客様に、より満足のいただけるライフソリューションのご提供を心がけています。

◆会社概要

会社名 : 株式会社NECライベックス
本 社 : 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6階
設 立 : 1970年10月14日
代表者 : 代表取締役執行役員社長 取屋 憲治
資本金 : 1 億円
従業員数 : 1,421名(2025年3月末現在)
売上高 : 92億円(2025年3月期)
事業内容 : NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業
営業拠点 : 156拠点 (2025年4月1日現在)

◆経営方針

1. お客様本位
2. 事業・サービスの継続
3. 新しいことへの挑戦
4. 従業員の誇りと尊厳
5. 自然・社会との調和

サービスモットー

「安全・安心で良質なサービスの提供」

私たちNECライベックスは、
常にお客様を中心に考え事業を行います。

お客様のWell-Beingに繋がる価値を提供し続け、
そのために新しい提案や変革に取り組んで参ります。

お客様にサービスを提供する従業員が元気であり、
自然・社会と調和した、
事業の運営に努力して参ります。

2. 環境マネジメントシステム（現状と取り組み）

当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。

（1）環境方針

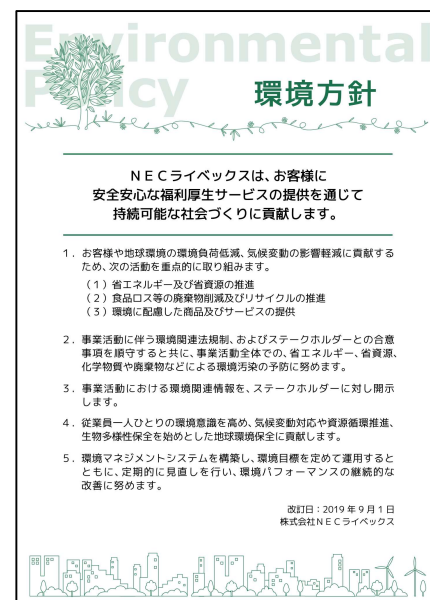
NECライベックスは、お客様に安全安心な福利厚生サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりに貢献します。

1. お客様や地球環境の環境負荷低減、気候変動の影響軽減に貢献するため、次の活動を重点的に取り組みます。

- （1）省エネルギーおよび省資源の推進
- （2）食品ロス等の廃棄物削減およびリサイクルの推進
- （3）環境に配慮した商品およびサービスの提供

2. 事業活動に伴う環境関連法規制、およびステークホルダーとの合意事項を順守すると共に、事業活動全体での、省エネルギー、省資源、化学物質や廃棄物などによる環境汚染の予防に努めます。

3. 事業活動における環境関連情報を、ステークホルダーに対し開示します。
4. 従業員一人ひとりの環境意識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。
5. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定めて運用するとともに、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めます。



環境方針ポスター

制定日：2007年 4月 1日
改訂日：2019年 9月 1日
株式会社NECライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治

(2) ISO14001認証

当社は、1998年10月、オフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体として、業界で初めてISO14001をNEC本社ビルにおいて認証取得しました。

また、2007年12月、取得範囲を拡大し、現在は本社および6ヵ所の関連事業所に至っています。

登録事業者：株式会社NECライベックス

登録活動範囲：NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業
(売店・食堂・宿泊施設運営、厚生
文体施設運営管理、ヘルス&スポーツ
に関する事業及びその付帯業務)

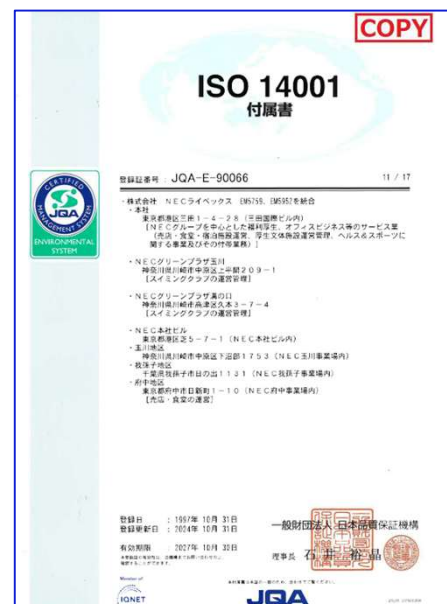
関連事業所：本社、NECグリーンプラザ玉川・溝の口、
NEC本社ビル、玉川地区、府中地区、
我孫子地区

審査機関：一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)

登録証番号：JQA-E-90066

登録日：1997年10月31日

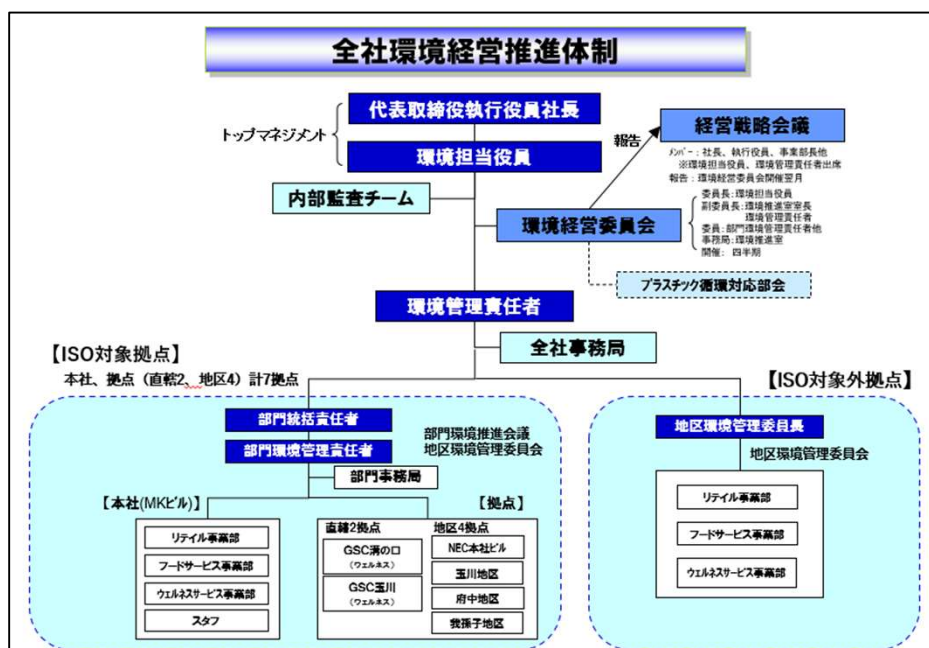
有効期限：2027年10月30日



ISO14001登録証

(3) 環境推進体制

当社は、社長と環境担当役員をトップマネジメントとし、ISO対象範囲と範囲外に体制を分けて構築・運用しています。3ヶ月ごとに開催する環境経営委員会において、重要事項を審議し、地区環境管理委員会において周知徹底を図っています。



環境推進体制図 (2025年4月現在)

(4) 順守義務・順守評価



① 順守義務 <2024年度重点活動方針>

当社は、「廃棄物処理法」他、約40の環境関連法が該当しますが、以下のとおり各項目別にガイドライン等の作成、専門教育等を実施し、法令違反および環境事故の未然防止に取り組んでおります。

◆廃棄物管理

<産業廃棄物処理委託会社の管理>

当社は、67社の産業廃棄物処理会社に産業廃棄物の処理を委託しています。各委託会社については、最新版の許可証（写し）を取り寄せて、その有効性の確認（許可証期限管理）を実施しています。

また、契約時、および3年毎に処理場等へ赴き、現地確認を実施しています。2024年度では、9社の現地確認を実施しました。※優良会社のHP確認等含む



現地確認実施状況（中間処理業者）

◆化学物質管理

当社は、以下のとおり、化学物質の管理を徹底しています。

※当社で使用している化学物質は主に洗剤です。

- ・新規使用時の内容確認（アセスメントの実施）
- ・化学物質使用一覧、SDS（安全データシート）の掲示
- ・漏えい対策
- ・保管方法の対策（塩素と消毒用アルコールを離して保管）
- ・保護具の着用、小分け洗剤の表示
- ・定期棚卸

また、化学物質に関するルールについて、現場責任者のためにわかりやすくまとめた「化学物質運用ガイドライン」を作成し、職場責任者教育で周知しています。

◆プラスチック資源循環

当社は、特定プラスチック使用製品の提供事業者で、その削減に向け合理化策を展開しております。

2024年度使用量実績は0.256トンで、基準年度対比90.6%削減を達成しました。また、2025年度使用量目標は、0.328トンと設定しました。

宿泊施設関係（NEC三田ハウス等）

- ・アメニティ備品（歯ブラシ、カミソリ、くし、ヘアキャップ）は、全てバイオマス20～40%配合品を使用。
- ・フロント置きし、必要な人に提供する。

売店関係

- ・カフェコーナーのストローは提供中止。（売店で有料販売）マドラーは、紙製を使用。
- ※本社ビルFIELDのカフェのストローは竹製、マドラーも木製を使用。
- ・NEC事業場応接ゾーンのお客様サービスコーナーで提供のペットボトル飲料は缶飲料を使用。



アメニティ備品の提供（バイオマス配合品・フロント置き）＜NEC三田ハウス＞



マドラー：紙製を使用



ストロー：有料化



ペットから缶飲料へ
＜お客様サービスコーナー＞

また、当社は、プラスチック使用製品産業廃棄物の排出事業者でもあり、2024年度排出量は、73.7トンでした。（多量排出事業者：非該当）

◆フロン機器管理

当社は、以下のとおり、フロン機器の管理を徹底しています。

- ・フロン機器使用台帳の作成
- ・簡易点検、定期点検
- ・漏えい時の対応
- ・廃棄時のフロンの回収、破壊
- ・定期棚卸

また、フロン機器に関するルールを現場責任者のためにわかりやすくまとめた「フロン機器運用ガイドライン」を作成し、職場責任者教育で周知しています。

以下の機器について、特定漏れがないように注意すること。



ザラダバー用平型冷蔵庫
(休止中)



冷蔵庫スツッカー (故障)



給茶機



ドリンク
ディスペンサー



ウォーター
クーラー



冷蔵庫・冷蔵
スツッカー



オールバーパス
自販機

故障、休止中の機器
(倉庫等に保管されていないか)

ドリンク関係の機器
(食堂ホールは確認したか)

売店関係の機器



ビールサーバー



スポットクーラー



製氷機



食食用冷蔵庫



プラスチック



保冷車



客室用冷蔵庫

その他特定漏れしやすい機器
(冷却機能のあるものは全て調査したか)

フロン機器運用ガイドライン

フロン機器使用台帳									
部門名									
機台番号(機台ID)									
機台名									
No.	設置場所	機器名	形式	メーカー	製造区分	運用区分	機器管理番号	フロン 充填量	圧縮機 定格出力
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

フロン機器使用台帳

フロン機器点検整備結果

部門名:

【フロン機器概要】

機台名	設置場所
機台形式	メーカー
製造区分	運用区分
フロン充填量	圧縮機 定格出力
移動情報、他	

【簡易点検結果】 安全で容易に目視が出来ない機器

年度	期	実施日	点検者	点検結果	対応	チェック者	責任者
2019年度	1Q						
	2Q						
	3Q						
	4Q						
2020年度	1Q						
	2Q						
	3Q						
	4Q						
2021年度	1Q						
	2Q						
	3Q						
	4Q						

フロン機器点検整備結果

フロン漏えい時の対応手順書

制訂日: YYYY年MM月DD日			
目的		責任者	作成者
当社が所有あるいは業務で使用する第一種フロン特定製品からフロンが漏えいした場合(漏えいした疑いがある)に迅速かつ適切に対応できるようにする。		〇〇〇	〇〇〇
適用範囲			
当社が所有あるいは業務で使用する第一種フロン特定製品に対して適用する。 ・食堂ホール、厨房、洗浄室 ・売店、自販機(直販) ・福利厚生施設 ・事務所及び会議室、研修室 ・会議室、客室 ・機、社名 ・スミシングプール施設			
実施手順			
・当社管理の第一種特定製品の設置した地点の周辺先情報(社内窓口、客室、連絡先等)の入手 ・客先設置の地点、エスカレーション先(所有者)情報(リース、レンタル、貸与)の入手			
漏えい発生			
以下の状態を発見した場合は、フロン漏えいの疑いがあることを判断し、以下の対応処置を実施する。 【フロン漏えいの疑いがある状態】 ・設定した温度にならない(冷えない、設定温度まで器内より時間を要する) ・機器の発熱(配管の発熱や機器、故障等)が発生している ・外観に異常(目、振動、油のしみ、腐蝕、発熱)が発見された			
1. 発見者は、該当する第一種特定製品の稼働を速やかに停止する。 2. 可能な範囲で不良情報(症状、原因等)を収集する。 3. 必要に応じて、客先設置の地点は、客先設置の場所を別の製品に移動させる。 4. 事前準備で入手したリストに基づき、該当製品の修理を依頼する。			
(注) ・フロン漏えい(の疑い)が解消(修理完了)するまで、該当製品を稼働させてはならない。			
エスカレーション			
1. 事件発生状況、問い合わせ情報などを速やかに口頭で報告する。 2. 所定のエスカレーションルールにもとづき、報告する。(電話、メール、文書等) ※報告者の場合は、客先にもエスカレーションすること ※115の通報の場合は、フロンリサイクルセンター(事業部)にエスカレーションし、報告を要する ※経理等にフロンを充填した場合は、専用記録簿(簿)に(内装品)を記載したものを客先に提出する。(内装品一貫票)を提出する。			
廃棄処理			
・緊急対応基本マニュアル ・環境安全対策対応手順 ・フロン排出削減に関する運用規程 ・フロン機器運用ガイドライン ・緊急事態対応ガイドライン			

フロン漏えい時の対応手順書

② 順守評価

当社は、全ての拠点に関係する環境関連の法律、条例、その他要求事項を調査し、その順守評価を毎年、実施しています。

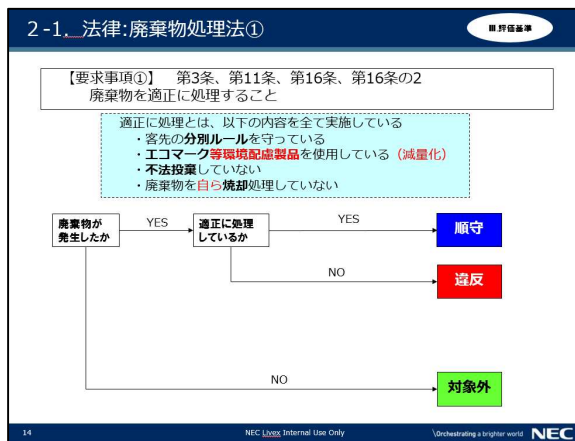
2024年度も 全ての法律、条例の改正情報をチェックのうえ、特定したリストを更新し、10月に順守評価を実施し全拠点の『法律違反なし』を確認しております。

<当社順守評価のポイント>

法規制等の内容は、法律用語が使われるため、専門的知識を持たない現場の人にはどうしても理解しづらい部分があります。

そこで当社では、適正な評価結果ができるよう、作業内容に照らしてYes・Noを選択することで、適正な評価につながる「順守評価ガイドライン」を作成し、現場の人からも、わかりやすいと好評を得ています。

順守評価をする人、その評価結果のチェックをする人は、力量確保のため毎年、「順守評価者教育」を実施し、理解度テストで全問正解することにより評価資格があたえられます。



順守評価ガイドライン

No.	問題
1	次の○に当てはまる言葉は何か。以下の①から③の番号から選択してください。 順守評価とは、「コンプライアンス徹底の観点で、当社の関連する環境関係の法律・条例・その他要求事項を特定し、その要求事項を〇〇しているか」を確認することである。 ①明示 ②順守 ③違反
2	次の○に当てはまる言葉は何か。以下の①から③の番号から選択してください。 今般、順守評価の評価基準が見直され、従来「発生なし」の区分（要求事項の記載内容は自部門に該当するが、前回の順守評価以後、発生していない状態）が「〇〇」の区分に変更された。 ①順守 ②違反 ③非該当
3	フロン機器の簡易点検の点検頻度で正しいものはどれか。以下の①から③の番号から選択してください。 ①3ヶ月に1回 ②6ヶ月に1回 ③1年に1回
4	以下の整備者のとった対応は正しいか。以下の①から③の番号から選択してください。 管理者から業務用空調機の冷えが悪く、整備者に整備の指示が入った。整備者は、フロンが漏れていると思い、漏洩箇所の確認をせず、充填回収業者に該当機器のフロン充填を依頼した。 ①正しい（特に問題はない） ②間違っている ③どちらともいえない
5	次の○に当てはまる言葉は何か。以下の①から③の番号から選択してください。 フロン機器を別の拠点に移動した場合、簡易点検結果等の記録を〇〇〇に渡さなければならない。 ①環境推進室 ②客先 ③移動先

順守評価者教育理解度テスト

また、順守評価以外にも内部統制推進部による業務監査、地区環境管理委員会および事務局による環境パトロール等により現地、現物の状況を確認し、コンプライアンスが徹底されているか確認をしています。

(5) 緊急事態対応



当社は、発生する可能性のある環境事故・法律違反を想定して、以下の6項について緊急事態リスクとして特定しています。

- ・洗剤等の排水への流出
- ・フロンの漏えい
- ・廃棄物の不法投棄
- ・廃食油運搬および保管時の客先敷地内への漏えい
- ・車両からの燃料等オイルの漏えい
- ・次亜塩素酸ソーダタンクからの漏えい ※

※ NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）のみ該当

この緊急事態リスクの発生に備え、個々の緊急事態対応手順書を作成し、各拠点には緊急事態対応備品（吸着シート等）を整備しています。また、毎年、上記リスクのいずれかの緊急事態対応訓練を実施しています。

2024年度は「廃食油の漏えい」を想定して訓練を実施しました。「廃食油漏えい時の対応手順書」の内容に問題はないか検証し、手順書の見直しは、“なし”というテスト結果が得られました。

◆ 府中地区（廃食油の漏えい訓練）



◆ GSC溝の口（次亜塩素酸ソーダの漏えい訓練）



(6) 環境教育・意識啓発活動

当社は、各種環境教育の実施および環境意識啓発の発信等を行い、従業員の環境意識啓発および力量確保を図っています。

①環境教育の実施

毎年4月に教育プログラムを計画し、実施結果は報告書として記録しています。全体の教育体系は、以下の表のとおりですが、力量確保が求められる教育は、理解度テストを実施し、力量を確認しています。

また、2024年度の教育統一テーマは「私たちが進むべきLIVEXの環境活動」を取り上げました。

区分	教育・訓練名	対象者	実施時期
意識啓発	入社時教育	パート等	適宜
		社員(新卒)	4月
		社員(中途)	適宜
	一般従業員教育	上記以外ISO認証拠点：従業員 ISO認証拠点以外：管理監督職	11月
力量確保	作業に準じた各種教育	電子マニフェスト担当者、職場責任者等	適宜
	廃棄物管理者教育	産廃管理者	適宜
	緊急事態対応訓練	認証拠点	4Q
	順守評価者教育	順守評価者・承認者	9月
	内部監査員新任教育	内部監査員（新任）	適宜
	内部監査員フォローアップ教育	内部監査員（既存）	9月

環境教育体系

◆一般従業員教育（11月）

2024年度の一般従業員教育は、ISO認証拠点の従業員および認証拠点以外の管理・監督職を対象に実施しました。また、教育資料は、NECグループ共通資料と当社独自資料を使用しました。（計 568人受講、実施率 100%）

Let's act for a sustainable world!

NECではグローバルに様々な環境取り組みを展開中です。NECグループの仲間たちが各地でどのような取り組みをしているかを知り、そしてぜひご自身や所属する部門の業務と環境との関わりについて考えてみましょう！

より良い未来のために、今、OneNECで取り組もう。(2024年度環境月間テーマ)

NEC/NECグループ経営層の環境ひと言メッセージと各社の環境取り組み事例を公開中！



経営層からの環境ひと言メッセージ → クリック NECグループの環境取り組み事例紹介 → クリック

© NEC Corporation 2024. NEC Group Internal Use Only. 

全ての行動に優先するのがコンプライアンス

- ・ルール の順守
- ・気がついたことは、責任者に報告

LIVEXらしい環境活動を

- ・お客様目線、創意工夫
- ・サービス向上→環境活動の推進
- ・「チーム」で活動



適量で提供(良い例)



少量の洗ひ物は、まとめて洗淨する(良い例)



食材等の先入れ先出し(良い例)

© NEC Corporation 2024. NEC Group Internal Use Only. 

2024一般従業員教育資料
<NECグループ共通>

2024一般従業員教育資料
<当社独自>

②意識啓発活動の実施

当社は、環境月間諸行事等を実施し、従業員の環境意識の向上を図っています。

◆環境月間

毎年、6月を環境月間として設定し、諸行事を実施しています。

NEC拠点の食堂に加えてNECPF拠点の食堂（計12拠点）でスペシャルメニューを提供し、またフードロス削減への賛同メーカーより提供を受けた商品をNEC拠点内の売店で販売して、食品ロス削減をアピールしました。

※5,199食販売（全喫食者の28.1%）



ライベックス×環境月間『エコランチ2024』

◆省エネ月間

毎年、2月を省エネ月間として設定し、諸行事を実施しています。2024年度は、ISO全拠点において省エネパトロールを実施し、エネルギー削減につながる指摘や提案事項を抽出しました。



(7) 環境コミュニケーション

当社は、社内外のステークホルダーに対し、各種ツールを活用して積極的に情報発信しています。

①内部（社内）コミュニケーションの実施

2013年度より、従業員への情報提供ツールとして毎月「環境・衛生・安全ニュース」を発行しています。2024年度は「SDGsカレンダー」をテーマとしました。

環境情報

2024年度は「SDGsカレンダー」というテーマで情報発信します。
2016～2030年の15年を対象期間とするSDGsは、2024年から後半戦に入ります。

6月5日は「世界環境デー（環境の日）」です

環境の日は、環境保全の重要性を再認識し環境への意識を高めるための日です。
1972年6月5日 国連環境会議（ストックホルム会議）で「人間は環境とともに発展していくべきであり、そのためには環境を保護することが必要である」という考えが国際社会に広く認識されました。

Let's act for a sustainable world!
～より良い未来のために、今、OneNECで取り組もう。～

- ・NECグループ 各社の環境取り組み事例を共有
- ・環境講演会
- ・NECxライベックス特別企画(社員食堂にて開催!)
- ・生物多様性観察会@我孫子 など

株式会社NECxライベックス/NEC Livex, Ltd.

「NECxライベックス ECO特別メニューにご賛同下さい!」
株式会社NECxライベックス 環境部 関根 力

Enjoy special food menu contribute to environmental sustainability produced by NEC&NEC Livex collaboration
Tsutomu Jojenu, Director and Executive Officer
NEC Livex, Ltd.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

【NECグループ 環境月間2024年6月1日～30日】
6/18 食堂「エコランチ2024」
6/10～28 売店「KURADASHI」
https://one.nec.com/biz/eco_tqm/eco_edu_gekkan_2024

環境・衛生・安全ニュース

②外部（社外）コミュニケーションの実施

2003年度より、毎年、「環境アニュアルレポート」を発行し、主なステークホルダーへの配布、および当社ホームページ上に掲載し、一般公開しています。

また、外部からの苦情等については、「環境情報受付一覧表」として対応結果を記録しており、2024年度は、苦情等の報告はありませんでした。

(8) 内部監査および外部審査・監査



当社は、年間計画にもとづき、内部監査、外部審査を実施しています。また、審査・監査において指摘事項が発生した場合、是正計画をたて、是正結果の有効性確認を実施しております。2024年度は、以下の審査および監査が行われました。

①ISO14001審査の実施

2024年8月20日～22日の3日間、財団法人日本品質保証機構（JQA）の審査員による直接審査を受審しました。食用油のリサイクル化への取り組みに関してグッドポイントの評価をいただきました。

※指摘事項は、ありませんでした。



廃食油保管場所(有価売却)



省エネ設備導入

②内部監査・NEC環境経営監査の実施

2024年度は、11月に4部門の内部監査（当社監査員による内部監査）を実施し、2025年1月に残りの部門（環境部門と4部門）のNEC環境経営監査（NECグループ監査員による監査）を実施しました。監査時にあがった問題点については、全て是正処置、有効性を完了しました。



NEC環境経営監査（2025年1月）

3. 環境目標および実績

当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。



(1) 2024年度環境目標（達成状況）

2024年度は、全項目の環境目標を達成することができました。

活動項目	2024年度目標	2024年度実績	評価
【地球温暖化防止】			
エネルギー使用量（絶対値）の削減	619kl	569kl	○
【資源循環】			
水道使用量の削減	47,311m ³	44,849m ³	○
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	43.5g/食	43.5g/食	○
【環境に配慮した事業の推進】			
R22フロン設備の更新 （リテイル事業部）	3台	3台	○
環境催事の実施 （フードサービス事業部）	4件	5件	○
環境配慮型設備の提案・更新 （ウェルネスサービス事業部）	4件	4件	○
5S活動の推進（7月、11月：備品廃棄） （スタッフ）	2件	2件	○

【評価基準】 ○：達成（100%以上）、△：未達成（90%以上100%未満）、×：未達成（90%未満）

(2) 2025年度 環境目標（計画）



2025年度環境目標は、「NECエコアクションプラン2025」、「環境方針」等に準じ、目標を策定しており、基本的には2024年度の活動の継続となります。

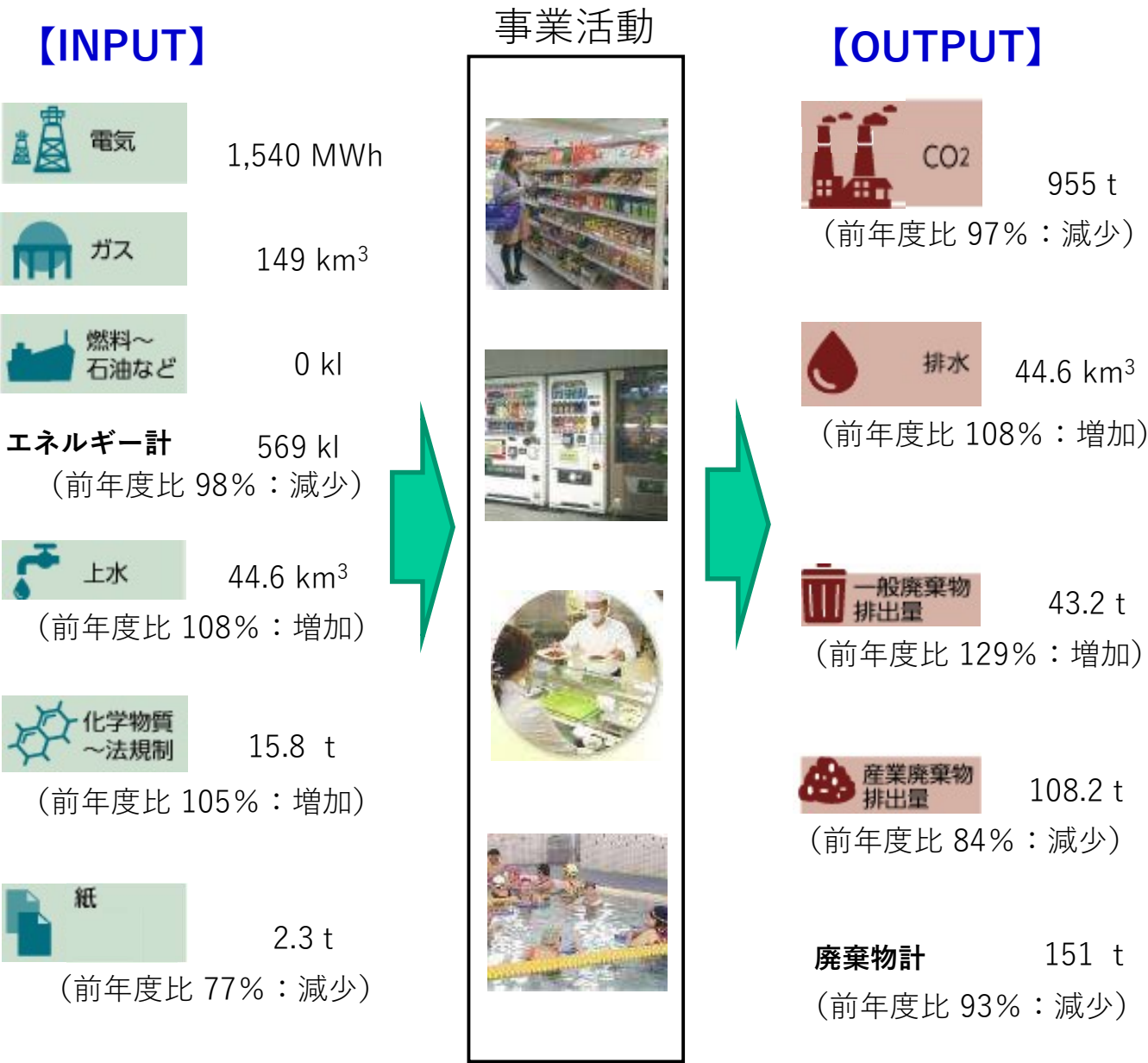
ただし、部門目標については、リテイル事業部が「LIVEXNETの会員数アップ」、スタッフ部門が「環境標語による環境活動の意識づけ」と新しい目標にチャレンジしています。

活動項目	2025年度目標	備考
【地球温暖化防止】		
エネルギー使用量（絶対値）の削減	563kl	前年度実績比1%削減
【資源循環】		
水道使用量の削減	44,625m ³	前年度実績比0.5%削減
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	43.5g/食	前年度実績以下
【環境に配慮した事業の推進】		
LIVEXNETの会員数アップ （リテイル事業部）	前年度会員数 10%アップ	CO ₂ 排出量の削減
環境催事の実施 （フードサービス事業部）	4件	SDGs推進
環境設備の提案 （ウェルネスサービス事業部）	4件	カーボニュートラル施策
環境標語による環境活動の意識づけ （スタッフ）	6月、2月 （標語募集）	環境啓発

4. 環境負荷状況（マテリアルバランス）

当社は、事業に係わるエネルギーや資源の投入量（INPUT）、および事業活動の結果、生じた環境負荷の量（OUTPUT）を把握し、環境負荷の削減に向けて取り組んでいます。

2024年度の環境負荷状況は以下のとおりです。※ISO14001認証拠点のみ

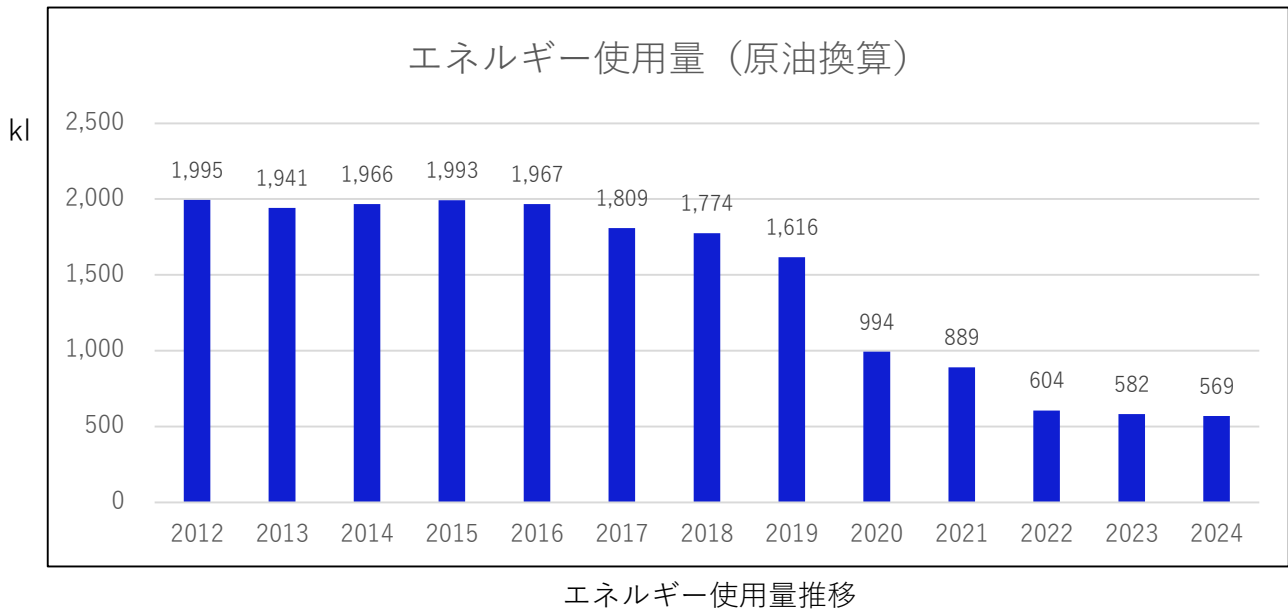


5. 主な環境負荷低減活動

(1) 省エネルギーおよび省資源の推進 <環境方針>



当社は、環境負荷低減のため、諸々の活動を計画的に実施しています。
※2022年度からエネルギー使用量は、共用部を除いた数値に変更しています。



① エネルギー削減への取り組み

ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイングクラブ（玉川・溝の口）において、電気使用量の「見える化」としてスマートクロック（日本テクノ社製）を導入して省エネ活動を推進しています。

これは、電気使用量によってスマートクロック（左下写真）の色が変化し、使用量が目標値を超過するとアラームも鳴る仕組みになっており、会員と従業員と無駄な電気使用の削減に一緒に取り組んでいます。



スマートクロック



管理機器（事務所設置）



館内ポスター

② 水使用量削減への取り組み

NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）では、水泳後に「10カウントシャワー」を実施し、プールから上がった後に体に付着した塩素や汚れを効率的に洗い流すための取り組みを行い、健康と環境の両面に配慮しています。

このシャワー習慣は、肌荒れ防止や衛生管理に加え、必要最小限の水の使用による節水効果も期待できる、環境にやさしい行動です。

具体的には、以下の手順で行います。

- ・水温の確認
まずは水温を確認し、無駄な水の流出を防ぎながら適温で使います。
- ・10カウント
全身をまんべんなく洗い流すために、心の中で10まで数えながら効率よくシャワーを使用します。
- ・水分補給
体調管理のために、シャワー後はしっかり水分を補給します。

この「10カウントシャワー」は、節水による環境負荷の軽減と個人の健康管理を両立させる、小さなECOアクションです。肌が敏感な方は、使用水量を調整し、肌への負担を和らげる工夫を取り入れると、さらに効果的です。



(2) 食品ロス等の廃棄物削減の推進 <環境方針>

当社は、食品廃棄物の排出量を削減するため、諸々の削減活動をしています。

① フードロス削減

フードサービス事業部では、環境月間に合わせてエコランチの提供を行ったり、3社（府中市・キューピー・NEC）と協力し、食品ロス削減のためのエコレシビを提供しました。これらのコラボメニューは、通常捨てられがちな食材の部位を活用したもので、ランチを食べることにより手軽に食品ロス削減に参加することができます。SDGsランチは、味の素様が監修している持続可能な食事プログラムです。このランチは、野菜を無駄なく丸ごと使用し、食品ロスを減らすことを目指しています。栄養バランスにも配慮され、健康的な食生活をサポートします。また、ブラックフライデーに対抗してグリーンフライデーのメニュー提供を行いました。



エコランチ2024の提供<2024年6月>



府中市エコレシビメニューの提供<2024年8月>



野菜丸ごと！SDGsランチ<2024年10月>



グリーンフライデーメニューの提供<2024年11月>

② 食品ロス削減推進法への取り組み

10月の食品ロス削減月間において、食べ残しを減らす、買いすぎない、賞味期限・消費期限を理解する、など、一人ひとりができることから食品ロス削減に向けた取組を推進しました。

なお、2024年度の食品リサイクル法の定期報告において、当社の再生利用等実施率は、69.3%で目標を達成しました。



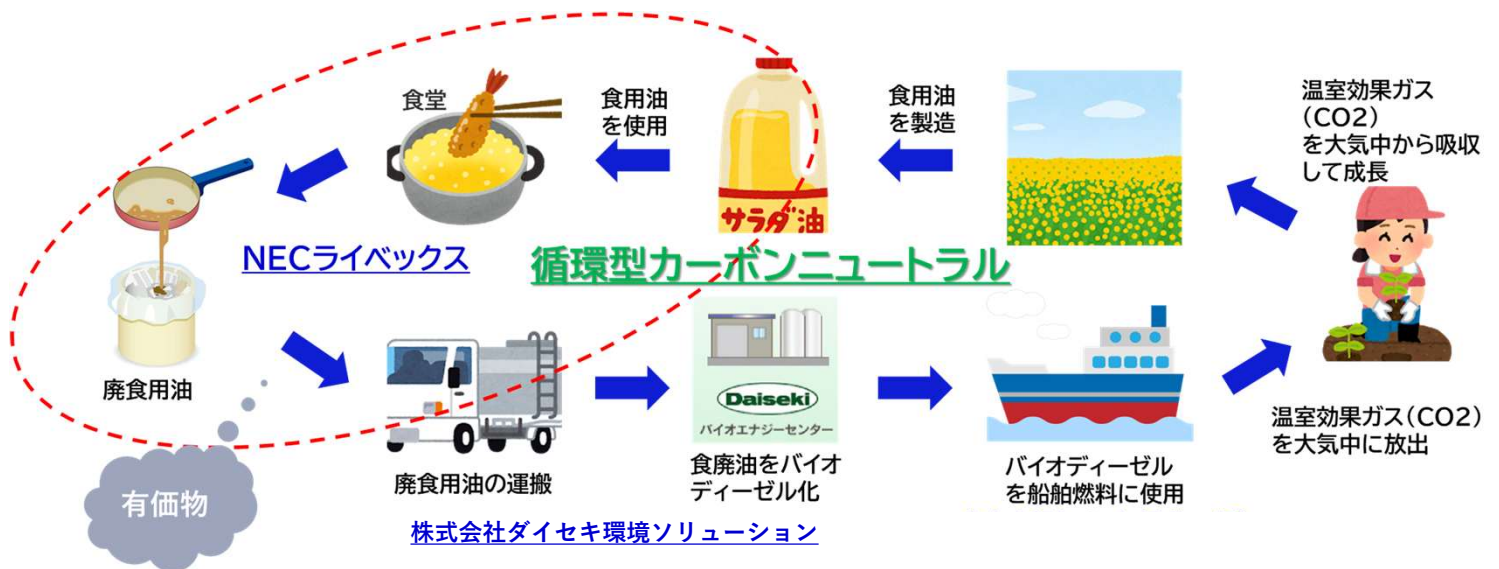
(出典:消費者庁ウェブサイト)

(3) リサイクルの推進 <環境方針>



① 廃食油のリサイクル化への取り組み（廃食油で作る燃料はカーボンニュートラル）

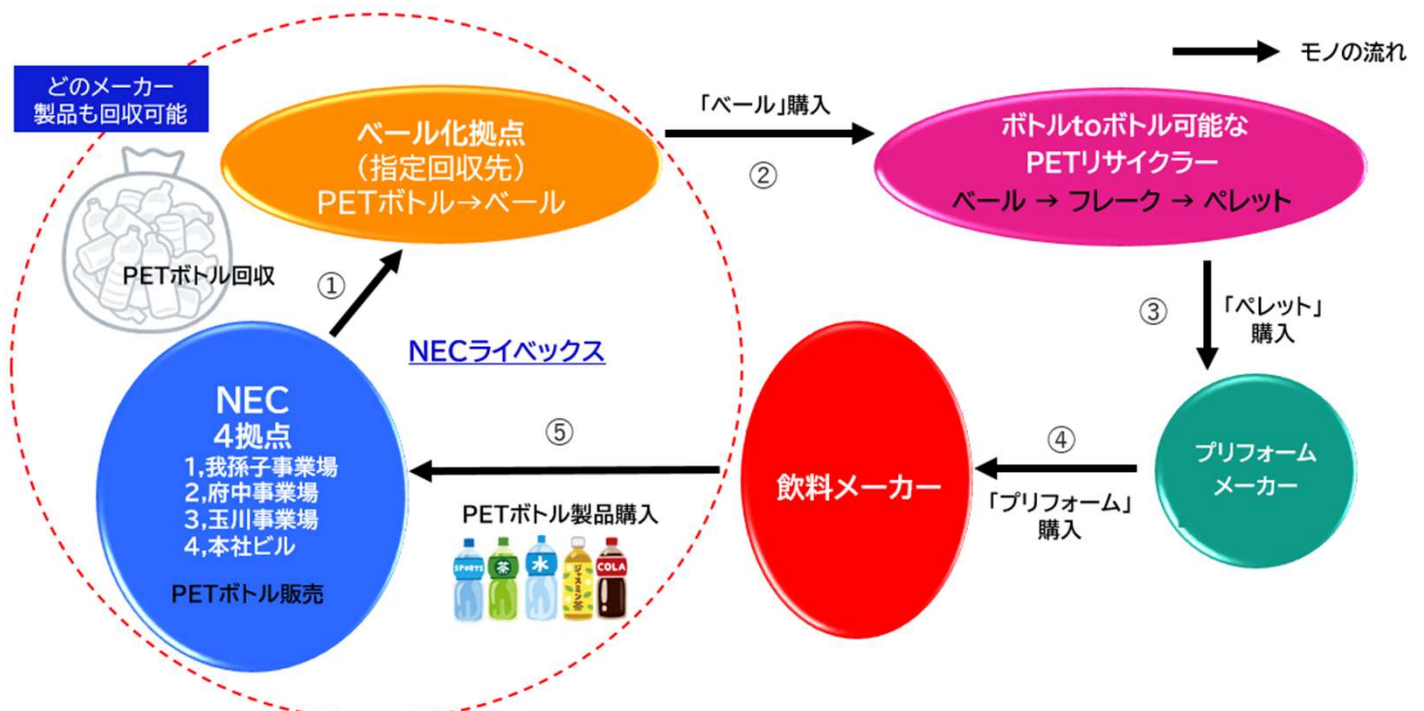
化石燃料以外の原料として、廃食油をディーゼル燃料に転換して循環利用します。バイオディーゼル燃料は、植物から生成した、温室効果ガス(CO2)の排出を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする燃料であるため、地球温暖化防止にも貢献することから、持続可能な循環型社会構築に向けた具体的に効果のある事業として取り組んでいます。



② PETボトル・缶の新リサイクルシステムへの取り組み

PETボトル・缶の廃棄物を有価物として扱うように、NECサプライチェーン改革統括部と飲料メーカーと当社で、新リサイクルシステム（ボトルtoボトル）をNEC各拠点に導入しました。

NECグループとして、廃棄物の低減ならびに、これらを有価物として扱うことで、費用削減やSDGsの活動に取り組んでいます。



(4) 環境に配慮した商品およびサービスの提供 <環境方針>



当社は、お客様の環境負荷を削減するため、様々な活動を実施しています。

① 環境に配慮した防災備蓄品の提案

ウェルネスサービス事業部では、NECおよびNECグループ会社に納入している防災備蓄品の更新時に、環境配慮型製品（省資源、省スペース、長寿命）との入替えを提案しています。

これにより、お客様の備蓄品の保管スペースの削減や使用後の包装・空缶等の廃棄物を抑制できます。

2024年度もビルの移転、リニューアルに伴う備蓄品移設プランの作成、移設・再配置を実施、さらに使用期限切れのヘルメット及び簡易トイレの更新を多数実施させて頂きました。



防災備蓄品納品状況



防災備蓄品（備蓄米、保存水、ヘルメット等）

② フードロス「KURADASHI」商品の販売

リテイル事業部では、フードロス削減への賛同メーカー「KURADASHI」より協賛価格で提供を受けた商品を、本社ビル（FIELD-Plaza）、玉川（くすのき、FIELD-Plaza、ソリューションセンター）、府中（10号館、8号館）、我孫子、関西ビル、中部ビルで販売しました。

なお、売上の一部については、社会貢献団体に寄付させていただきました。

環境月間イベント Kuradashi 販売

6月は
NECグループ
環境月間です。

おトクな
お買い物

Kuradashi
Social Good Market

「Kuradashi」とは商品の売上の一部を
寄付する社会貢献型ショッピングサイト

一部商品を売店で販売！

6月10日(月)～6月28日(金)

【取扱い店舗】
本社FIELD Plaza、玉川くすのき、ソリューションセンター）
府中(10号館・8号館)、我孫子、関西ビル、中部ビル
NEC 環境月間 × NEC ライベックス

「KURADASHI」商品の販売ポスター（2024年6月10日～28日）

6. 社会貢献活動

当社は、NECや地域と一体となり、様々な社会貢献活動を継続して実施しています。

① 水資源を通じた地域とのつながりと学び

ウェルネスサービス事業部では、地域とのつながりを大切にし、NECグリーンスイミングクラブを拠点に、環境（ECO）と地域貢献を意識した取り組みを行っています。

・町探検

地域の小学校による「町探検」学習の一環として、児童が地域施設を訪れる活動を支援しています。スイミングクラブでは、健康な体づくりとともに、水資源の大切さや安全な水環境についても学べる場として、小学生に水泳の意義を伝えています。

・水泳授業

夏季に実施される小学校の水泳授業を、屋内施設として受託しています。天候に左右されずに授業が行えるだけでなく、水の効率的な使用や安全管理を徹底することで、持続可能な学びの場を提供し、教職員の負担軽減と地域の教育環境の向上に貢献しています。



町探検



小学校水泳授業

② サンタクリーンアップ活動（三田国際ビル周辺の清掃活動への参加：2024年12月）

参加者がサンタのコスチュームを着用し、クリーンアップや写真撮影のお手伝いをしながら三田国際ビルやビル周辺を練り歩きました。多様なステークホルダーの皆様との取り組みをきっかけに、地域社会への貢献のほか、参加者や来街者にとってゴミ問題や環境配慮などSDGsを考え、実践する機会となることを目指しています。



環境アニュアルレポート2025

株式会社NECライベックス

〒108-8305 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6F

TEL:03-3455-0333(代表)

発行日：2025年8月29日

発行責任者：伊藤 恒雄

お問い合わせ先：環境推進室

TEL.03-3455-0086 FAX.03-3455-0584

e-mail： kaneian@livex.jp.nec.com

☆本レポートはインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.neclivex.co.jp/environment/index.html>



NEC

\Orchestrating a brighter world